

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

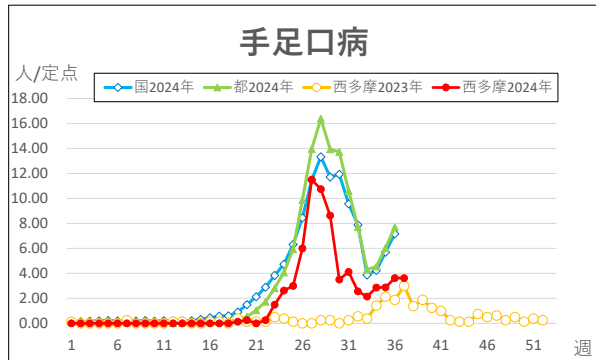
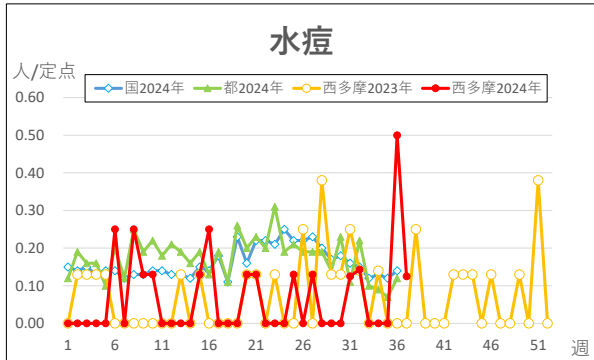
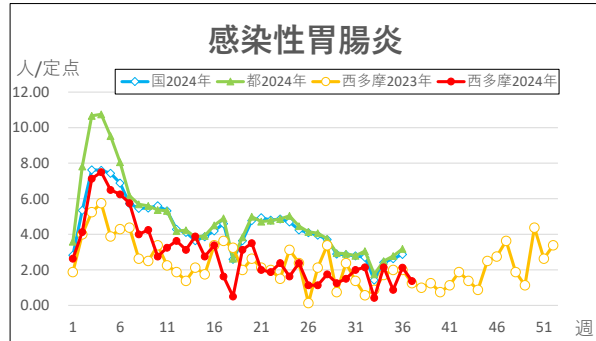
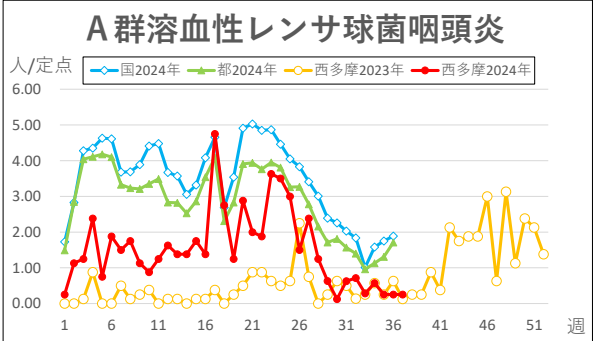
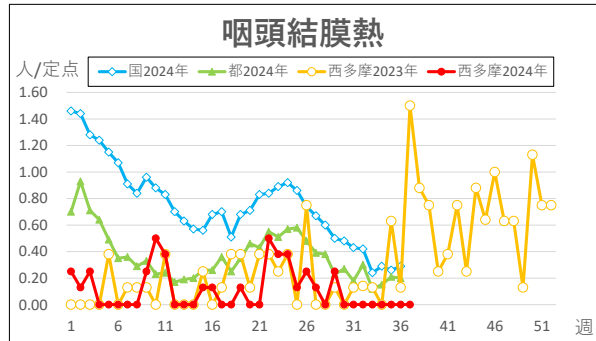
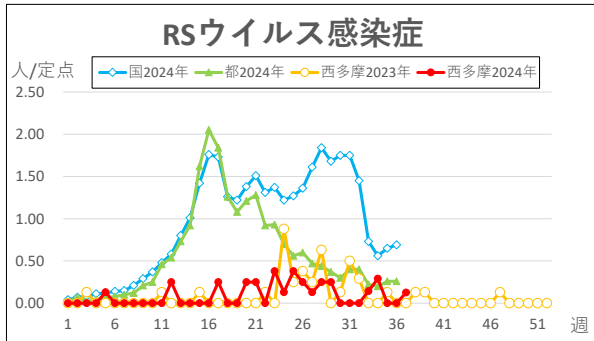
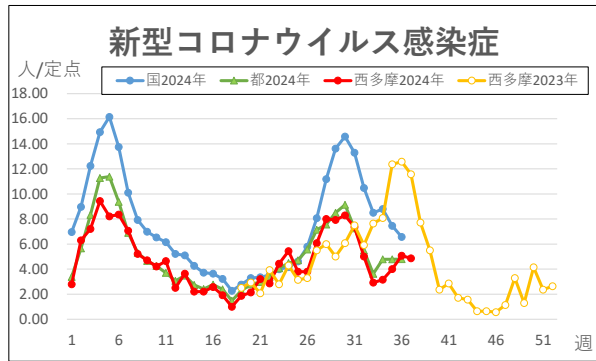
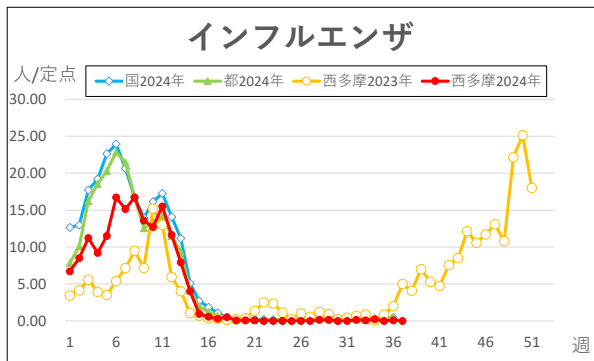


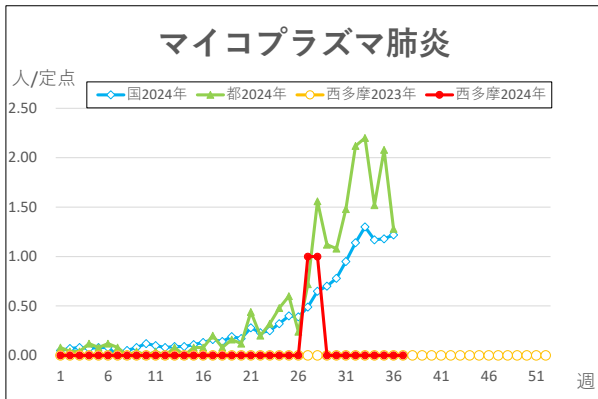
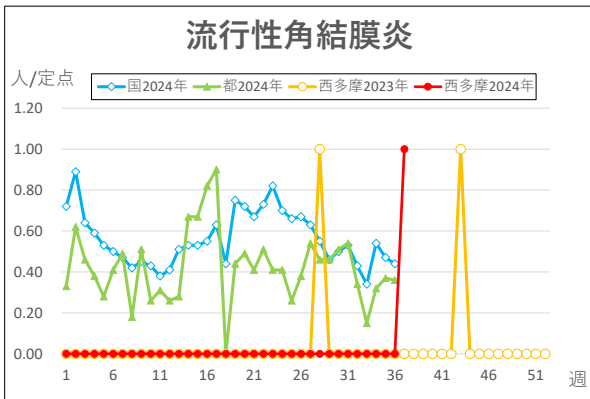
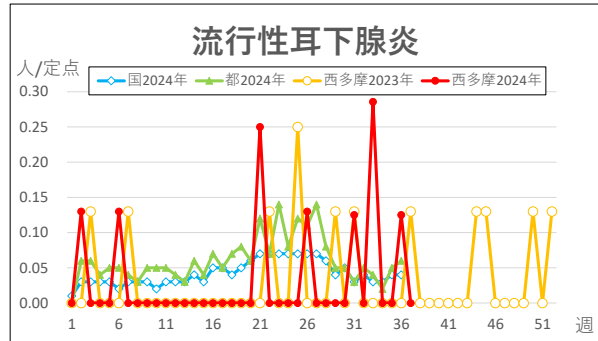
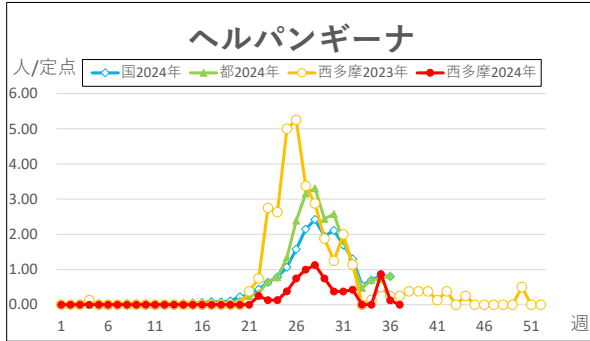
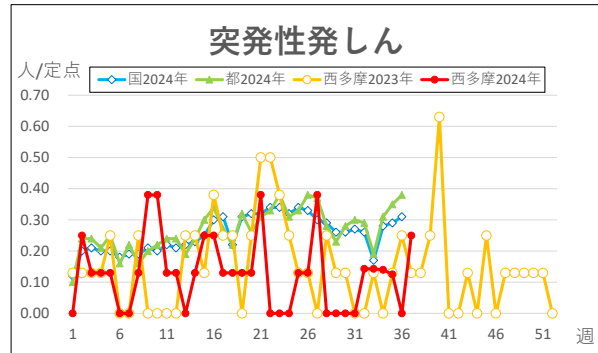
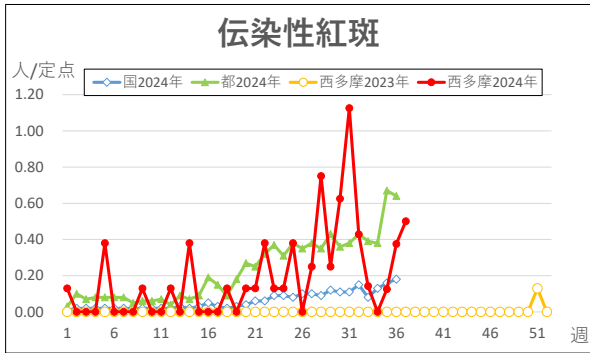
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 () は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患は、結核1件(無症状病原体保有者、30代男性)、レジオネラ症1件(70代男性)の報告がありました。
- 定点報告は、手足口病3.63(3.63)、新型コロナウイルス感染症4.86(5.07)で横ばいでした。手足口病は都の警報レベルが続いています。西多摩管内では報告がありませんが、都及び国ではマイコプラズマ肺炎は例年より高い傾向が続いています。

管内の感染症集団発生状況 () は内訳

- 新型コロナウイルス感染症4件(高齢者入所施設3件、医療機関1件)、疥癬1件(高齢者入所施設)、手足口病1件(保育園)の報告がありました。





トピックス ～マイコプラズマ肺炎～

マイコプラズマ肺炎は、細胞に寄生する極めて小さな細菌であるマイコプラズマ・ニューモニアによる感染症です。幼児、学童期、青年期を中心に全年齢で1年を通して報告があります。治療は、マクロライド系の抗生剤を使用します。

感染経路

- ①患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって感染（飛まつ感染）
- ②病原体が付着した手で口や鼻に触れることによる感染（接触感染）



症状

潜伏期間は2～3週間と比較的長いです。発熱、全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾性の咳が見られます。咳は経過に従って徐々に増強し、解熱後も3～4週間程度続きます。重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎などの中枢神経系症状、中耳炎などの合併症がみられることもあります。

予防のポイント

手洗い、咳エチケットを心がけましょう。



さらに詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/503-mycoplasma-pneumoniae.html>

厚生労働省Q&A <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou30/index.html>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数

	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	1週目からの累計
新型コロナウイルス感染症	116	103	65	38	41	56	71	68	2,304
インフルエンザ	0	0	2	1	3	0	1	0	2,301
RSウイルス感染症	0	0	0	1	2	0	0	1	27
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	5	2	4	2	2	2	446
感染性胃腸炎	12	16	15	3	15	7	17	11	845
水痘（みずぼうそう）	0	1	1	0	0	0	4	1	21
手足口病	28	33	18	15	20	23	29	29	501
伝染性紅斑	5	9	3	1	0	1	3	4	51
突発性発疹	0	0	1	1	1	1	0	2	34
ヘルパンギーナ	3	3	3	0	0	7	1	0	50
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0	1	0	2	0	0	1	0	7
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	2

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として水曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>